

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年2月28日

事業所名 中野区療育センターゆめなりあ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	97%	3%		・設置基準よりは大幅に広い部屋に設定しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	78%	22%	・朝礼にて当日の全体のスタッフ配置を把握しています。	・クラスの中で、ねらいに合わせて少人数のグループに分けて設定活動を実施していますが、職員数が必要になってくるため、引き続き職員配置も含めたグループ編成にしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	97%	3%	・子どもに応じて視覚的に示すなど、子どもが理解して取り組んでいけるように支援しています。 ・トイレや玄関が狭いが、クラス間で時間をずらし、人数調整しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	・毎日清掃の業者が入って床掃除など行っています。 ・活動に合わせて部屋に分けて行うなど設定しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	97%	3%		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	97%	3%	・保護者会での意見などは職員全体で共有して改善に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	97%	3%	・自己評価など必要な情報は法人ホームページに掲載しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	88%	13%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	97%	3%	・研修は随時機会を設けています。 ・法人として、事業所としても事例検討や研修など行っています。	・研修報告を会議内で実施することで、学んだことを言語化し、より理解を深めました。また他の職員にも伝えることで統一した支援につなげました。引き続き、報告書作成だけでなく、報告する機会を設けます。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和5年2月28日

事業所名 中野区療育センターゆめなりあ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	97%	3%		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	97%	3%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	・法人での書式を使って幅広く作成しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	94%	6%	・PDCAサイクルに合わせて実施しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	・日々担任同士で話し合って計画をたてています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	97%	3%	・月案を元に様々な体験ができるよう工夫しています。 ・工作なども同じものにならないように工夫しています。	・クラスごとの活動だけではなく、2クラス合同でねらいに合わせたグループ編成にして活動のバリエーションを増やしました。引き続き、職員配置も含めてねらいに合わせたグループ編成を実施し、バリエーションを増やしていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	97%	3%	・個別課題や制作などここに合わせた内容を実施している ・作成しているが実施が不十分なところもある	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	94%	6%	・ミーティングを通して連携しています。 ・リードの人が声をかけて連携しながら行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	90%	10%	・振り返りの共有と次回の対策を相談しています。	・時短勤務職員との打ち合わせが厳しいため、片付け業務や休憩時間を変更し、打合せをしました。引き続き業務内容を整理して時間を確保していきたいと思います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	90%	10%		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	89%	11%	・半年に1回の振り返りと新しい計画を作成しています。	・児童発達支援管理責任者が定期的に現場に入り、アセスメントし、必要な支援方法を共有してきました。引き続き、児童発達支援管理責任者が現場に入り、全体の支援力向上につなげていきます。	

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和5年2月28日

事業所名 中野区療育センターゆめなりあ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	92%	8%	・サービス担当者会議等へは管理者、児発管、担当職員など必要な職員の派遣を行っています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	97%	3%	・計画相談事業とも連携し、さらなる協働をしていきます。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	97%	3%	・嘱託医、常駐の看護師と連携して支援しています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	90%	10%	・医療的ケアが必要な児童には事前の聞き取りと、主治医から指示書を頂いています。	・医ケア会議を月一に行っています。また入院等があった場合は、サマリーを提出していただくだけではなく、相談員や看護師が保護者に状況を聞き、その都度情報を共有してきました。引き続き、情報共有していきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	50%	50%	・就園支援シートを作成しています。 ・必要な子へはより深い引継ぎを行いたいと感じます。	・保育所等訪問事業の職員だけではなく、児童発達支援管理者も同行し、支援内容を共有しました。引き続き、お子さんの状況に合わせて、児童発達支援管理者も同行したり、家庭連携加算で訪問し、情報共有していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	70%	30%	・就学支援シートを作成しています。 ・必要な子へはより深い引継ぎを行いたいと感じます。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	90%	10%	・直接ではないが、保護者を介して確認し、それら情報を踏まえた上で助言しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	69%	31%	・コロナ禍が落ち着きましたら色々和交流も再開していきたいと思います。	・コロナ禍も少し落ち着き、近隣の保育園のプール利用を再開しました。アフターコロナを意識して、徐々に行事等にも参加していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	97%	3%	・正夢の会としては中野区自立支援協議会へ参加しています。自立支援協議会の児童分野ができましたら参加したいと思います。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	90%	10%		・年3回実施する保護者会の中で、学習会を実施しています。引き続きオンライン開催も実施し、より多くの保護者が参加できるようにしていきます。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年2月28日

事業所名 中野区療育センターゆめなりあ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	74%	26%	・契約の際と保護者会でも伝えている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	88%	13%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	97%	3%	・保護者会は行っているが父母会は現在存在しない	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	97%	3%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	72%	28%	・グループ、個別、保等など事業別におたよりを作成して配布しています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	94%	6%	・写真、動画は事業所のカメラで全て行っている	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	・写真や絵カードなど必要な支援を行っている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	93%	7%	・地域啓発事業として地域の事業所や、保護者を対象に研修会などを行っています	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	97%	3%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	90%	10%	・月1回の避難訓練を継続している	・マニュアルを随時変更し、災害に近い状況を想定して実施しました。引き続き、マニュアルを随時見直ししながら実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	97%	3%	・事前に服薬依頼書など書面にて確認を行っている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	79%	21%	・利用開始時に必ず書面で確認している	・小麦アレルギーのお子さんがいるクラスは、おやつ活動を中止するとともに、昼食の場を分けるなどして配慮してきました。引き続き、活動内容や環境に配慮していきます。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年2月28日

事業所名 中野区療育センターゆめなりあ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	90%	10%		・毎日の振り返りでインシデントアクシデントを報告していますが、リスクの種類や、どこから大きな事故につながるのかを管理者が伝えました。引き続き実施し、危機管理の意識を高めていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	97%	3%	・毎月の事業所会議の中でおこなっている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	79%	21%		・全体会議の中で、身体拘束の研修を実施しました。体拘束の必要性を検討する場合は、必ず管理者等が会議に入り、組織的に決定していきたいと思います。また定期的に身体拘束の研修は実施したいと思います。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。